

能

安達原・山中雅志

狂言 茶壺・井上松次郎

能

源氏供養・清沢一政

2019年

6月9日(日)

12時30分開演
(11時30分開場)



名古屋観世会 普及公演能

◆ 平成31年度のご案内（年3回の上演になります）※自由席券は、各回共通、1回に何枚でもご使用になれます。

年間指定席券(3回)	20,000円	当日指定席券	定例:8,500円/普及:7,500円	学生券(自由席)	3,000円
年間自由席券(3回)	15,000円	当日自由席券	定例:6,500円/普及:5,500円		

すでにご購入済みの「年間チケット」を指定席に変更できます。

●年間自由席→指定席に変更の場合 差額 3,000円

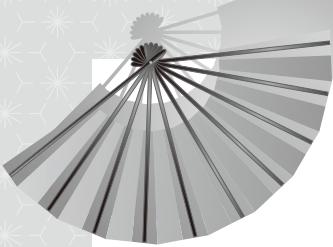
【共催】認定NPO法人 名古屋能楽振興協会

指定席券を指定日にご利用できなかった場合、年度内ならば何時でも、自由席券としてご使用できます。その時は必ず受付にて当日券に変更してください。※自由席満席の場合はご容赦ください。

お問い合わせ

名古屋観世会事務所(久田勘鷹方)
〒451-0041 名古屋市西区幅下2-10-9

TEL(052)265-5158
FAX(052)446-6025



附
祝言

能

安達原

山中雅志

狂言

茶壺

飯富雅介

橋本宰
小鼓
後藤嘉津幸
河村真之介
太鼓
笛
大野誠
坂口貴信
大西礼久
岡久広
祖父江修一

後見
岡清沢一政
橋本宰
鹿島俊裕
伊藤裕貴
本田吉沢
松山幸親
坂口貴信
久田勘鷗
大西礼久
佐藤友彦
今枝郁雄
大橋則夫
鬼頭義誠

【あらすじ】紀州(和歌山県)熊野の山伏、阿闍梨祐慶の一行は、諸国行脚の途中、奥州(福島県)安達原に着きます。日が暮れたので火の光をたよりに野中に一軒の庵を見つめます。一夜の宿を乞うと主の女は一度は断りますが、是非にといわれ招き入れます。山伏が見慣れぬ桟橋輪(さかわせりん)に興味を持つので、女は糸尽しの唄を謡いながらそれで糸を操る様を見せます。やがて女は夜も更けたので、もてなしの焚火をするために、山へ木を取りにゆくから、帰るまで闇の内を見るなどい置いて出かけます。△中入▽の能力は余りくどく闇の内を見てはならぬといったので、かえって不審に思い、祐慶に許可を求めるが許されません。能力は山伏達の寝入った隙を見て、闇のぞくとそこには人の死骸が山と積んであるので、びっくりし、これこそ鬼の住家だと祐慶に告げます。一行は驚いて逃げ出すと、先程の女が鬼女の本性を現し、約束を破つて闇の中を見たことを非難し、恨み、襲いかかって来ます。山伏達は必死に祈るので、鬼女は遂に祈り伏せられ、恨みの声を残して、夜嵐とともに消失失せます。

(四時頃終了予定)

能

源氏供養

清沢一政

橋本宰
橋元正樹
橋本叡
久田勘鷗
觀世芳伸
河村總一郎
伊藤裕貴
吉澤旭
松山幸親
坂口貴信
大西礼久
岡久広
祖父江修一

後見
久田勘鷗
觀世芳伸
地謡
吉澤旭
松山幸親
坂口貴信
大西礼久
岡久広
祖父江修一

小鼓
船戸昭弘
伊藤裕貴
吉澤旭
松山幸親
竹市学
笛
竹市学
地謡
伊藤裕貴
吉澤旭
松山幸親
坂口貴信
大西礼久
岡久広
祖父江修一

吉沢旭
角田尚香
星野路子
松山幸親
竹生島村アト
竹生島村クセ
吉澤旭
山中雅志
祖父江修一
本田勲

番組

仕舞
鶴之段

◆源氏供養(げんじくよう)

【あらすじ】安居院の法印が、石山寺の観世音に参詣する途中で、一人の里女に呼び止められます。そして、「自分は、石山寺にこもつて『源氏物語』書き上げました。物語は後世まで残るものとなりましたが、その主人公の光源氏を供養しなかつたので、作者の自分は未だ成仏出来ないでいます。どうか源氏の君の供養と、私の菩提を弔つて下さい」といいます。法印は余りの意外さに驚くものの供養の施主が紫式部の靈と判つて心よく願い事を引き受けます。すると女は、夕日影の中を、かき消すように失せてしまします。△中入▽法印は、門前の男に紫式部について聞き、石山寺にしばらく逗留して弔う事にします。自分の念願の仏事も終え、ついで式部のための弔いを行います。夜も更け、式部の身を偲び『源氏物語』について思いを巡らしていると、式部の亡靈が現れて、願文を法印に渡し、共に源氏の回向をします。そして供養の礼にと舞をまい、これで自分も成仏出来ると告げます。法印は、この紫式部は、石山観世音が仮にこの世に現れたものであり、『源氏物語』もこの世が夢である事を、人々に教える方便であったと知ります。

◆安達原(あだちはら)

【あらすじ】紀州(和歌山県)熊野の山伏、阿闍梨祐慶の一

◆御案内

平成31年度 名古屋観世会 公演予定

定期公演 | 11月10日(日)
清 部 梅若 実
景 半 久田勘鷗

一都合に依り曲目・出演者に変更があるかも知れませんが予めご承知下さい。
一携帯電話及び時計のアラーム等はあらかじめ電源をお切り下さい。
一、幼児の入場は勝手乍らお断り致します。
一、録音撮影等はかたくお断り致します。
一、演終了後の拍手は、シテが幕に入ります迄御遠慮頂ければ幸甚に存じます。

名古屋観世会

名古屋能楽堂

〒460-0001 名古屋市中区三ノ丸一丁目1番1号

TEL.052-231-0088

FAX.052-231-8756
<http://www.bunka758.or.jp/>

【主催】名古屋観世会

【共催】認定NPO法人 名古屋能楽振興協会

